



健康診断と一緒に！ 40歳からは乳がん検診



Q. 乳がんって？

乳腺の組織にできる悪性腫瘍です。

日本では年間9万人以上の方が新たに乳がんと診断されており、生涯において約9人に1人が乳がんにかかると推定されています。（2020年）

ライフスタイルの変化等により、乳がんの罹患率は年々増加しています。

Q. 何歳から注意が必要？

40歳頃から乳がんにかかる方が増えてきます。

乳がんは検診で早期発見が可能で、早期治療により治る可能性の高い病気です。

40歳以上は2年に1回は乳がん検診を受けましょう！

Q. どんな検査を受けるの？

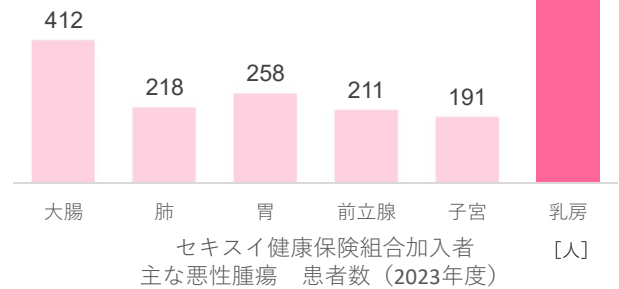
「マンモグラフィ」による乳がん検診は、がんによる死亡率が減少する効果が認められています。

マンモグラフィは、病変の位置や広がりを調べるために行う乳房専用のX線検査です。乳腺の重なりを少なくするために、2枚の板の間に乳房を挟んで圧迫し、薄く伸ばして撮影します。1)

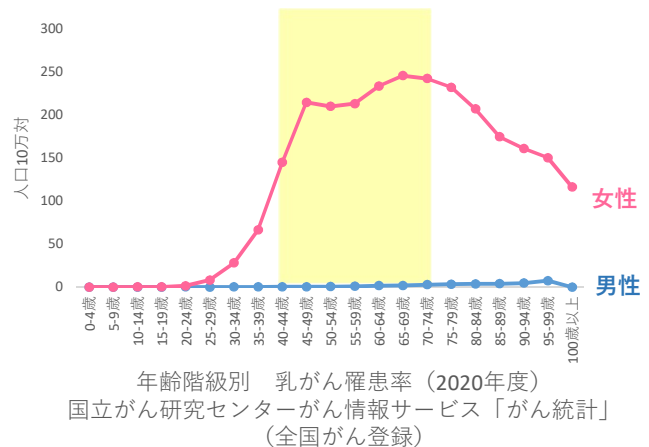
超音波検査を組み合わせると、検診の精度があがります。

超音波検査は、妊娠中でも検査可能です。

セクスイ健保加入者が
かかるがんで
一番多いのは乳がんです。



乳がんは仕事や子育てに忙しい
年齢の女性に多いがんです。



乳がんを早期発見するための 「ブレスト・アウェアネス」

ブレスト・アウェアネスは
「乳房を意識する生活習慣」です。

- ①ご自分の乳房の状態を知る
- ②乳房の変化に気を付ける
- ③変化に気付いたらすぐ医師へ相談する
- ④40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける

